

承認申請中

<b>1. プログラム名称</b>
熊本大学総合診療専門研修プログラム
<b>2. 専攻医定員</b>
10名（変更なし）
<b>3. プログラムの期間</b>
（ 3 ）年間
<b>4. 概要</b>
<p>A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長</p> <p>熊本大学病院を中心として、熊本県内全域に広がる様々な医療施設の協力のもと、オール熊本として、総合診療専門医の育成に取り組むプログラムである。研修施設には、大学病院や地域中核病院に加え、小規模病院等も含まれ、県庁所在地である熊本市内のみならず、県内の各二次医療圏に研修施設がある。また、平成28年4月の熊本地震で、直接大きな被害を受けた地域の施設も含まれている。</p> <p>熊本大学病院は、県内唯一の高度先進医療、かつ特定機能病院である上に、総合診療研修としてはアカデミックなトレーニングが可能である。大学病院の地域医療・総合診療実践学寄附講座及び救急・総合診療部が中心となってプログラムを運営するが、学外に寄附講座のサテライトとして玉名教育拠点と天草教育拠点を設置し、教員、指導医を配置し、総合診療の診療及び研修の実践を効率的に行っている。また各専門診療科では、高度な先進性にも触れながらの研修が可能になっている。加えて政令指定都市である熊本市内のハイボリュームの救急医療を行なう総合病院から、地域中核病院やへき地中核病院や診療所など、バラエティに飛んだ地域や施設から研修先を選択することが可能になっている。県内全域に広がる多くの施設がプログラムに参加することにより、異なる特性を持つ施設で、その地域に根付いた研修を行う事ができ、本人の希望に応じた研修が可能となっている。また熊本県出身の自治医科大学卒業生や、熊本県修学資金貸与の熊本大学卒業生（地域枠入学者を含む）の義務償還対象となる施設のほとんどを含み、専攻医も応募し総合診療専門医としてのキャリア形成支援に寄与することも実践している。</p> <p>B. プログラムの理念、全体的な研修目標</p> <p>将来、総合診療専門医として活躍するための基礎としての臨床能力や問題解決能力を身につけることだけでなく、地域医療に貢献するマインドと家族アプローチのマインドに加え、臨床に根付いたリサーチマインドを持った医師養成を目指している。また医学教育者や研究者としても必要となる、指導能力やリーダーシップに加え、将来、自身で学習を続ける能力の修得も求めている。</p> <p>その上で、熊本県内の各地域で活躍する総合診療専門医の継続的な育成と育成の場の拡充を目指し、高齢化社会の中での地域包括ケアシステムの中で、県民の健康増進、維持に貢献できる人材を育成する。</p>

C. 研修期間を通じて行われる勉強会・カンファレンス等の教育機会

- 学生や臨床研修医とともに屋根瓦式教育を行い、臨床・研究・教育のそれぞれで、継続的かつ複合的な視点を持った研修を行う。
- 基幹施設である熊本大学病院と、総合診療Ⅱ等の連携施設となっている公立玉名中央病院には熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座の学外分室である玉名教育拠点、天草地域医療センターには熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座の学外分室である天草教育拠点が設置されており、他の関連施設にも順次専用回線を使用したテレビ会議システムが設置されている。このシステムを用いて、遠隔カンファレンスや指導医間の連絡会議が毎週開催される。テレビ会議システムは、現時点で12施設に設置され活用されている。
- 毎週のテレビ会議システムを使ったカンファレンスでは、診療だけではなく、退院サマリーや通常の経験省察研修録の報告や発表を適宜行う。
- 年4回開催されるレジデントデイでは、合同で経験省察研修録指導を行っている他、経験省察研修録の作成指導は随時行われる。また2～3ヶ月に1度の頻度で、プログラム管理関係者と各専門研修医との個人面談も行われる。
- 基幹施設である熊本大学病院では、「総合診療セミナー」を年数回定期開催している。
- 熊本大学を中心に、県内の複数の総合診療専門研修プログラム施設とともに、2016年4月1日に発足した「熊本総合診療研究会」が提供するさまざまな学習機会にも参加可能である。また、関連する学会の学術集会では、発表の機会も提供される。
- また随時リサーチミーティングに参加し、適時、自身のプロジェクトの進捗について報告を行い、学術集会等での発表や学術誌への論文投稿が行われている。
- 研修期間中に、1～2週間に1日程度、必要に応じて適宜、自己で選択できる研修機会を設ける事も可能である。

D. ローテーションのスケジュールと期間

(4年以上のプログラムの場合は、枠を増やして4年目以降のローテーションについても記載すること)

		4月	6月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	熊本 病院	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名
	領域	総診 Ⅱ	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科
2年目	施設名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	熊本 医療 セン ター	熊本 医療 セン ター	熊本 医療 セン ター
	領域	内科	小児 科	小児 科	小児 科	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	救急	救急
3年目	施設名	人吉 医療 セン ター	人吉 医療 セン ター	人吉 医療 セン ター	公立 玉名	公立 玉名	公立 玉名	公立 小国	公立 小国	公立 小国	そよ う病 院	そよ う病 院	そよ う病 院
	領域	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅱ	総診 Ⅰ	総診 Ⅰ	総診 Ⅰ	総診 Ⅰ	総診 Ⅰ	総診 Ⅰ

特記事項（上記に示した研修ローテーションのスケジュール例に加えて、後期研修3年目に、地域の施設で選択研修を

実施するパターンを下記に示す。総合診療専門プログラム整備基準「専門研修施設群の構成要件」に則ってプログラム構築をすることが難しい場合、日本専門医機構理事会において例外的に認められた措置として、整備基準「10 他に自領域のプログラムにおいて必要なこと」に、「平成30年度からの3年間に専門研修が開始されるプログラムについては、専門研修施設群の構成についての例外を日本専門医機構において諸事情を考慮して認めることがある。」と示されている。これを基に下記の例では、内科の研修は、総合診療専門研修Ⅱの研修も兼ねたプログラムとなっている。

後期 研修 1年目		4月	6月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	熊大病院	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名
	領域	総診Ⅱ	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)	内科 (総診Ⅱ)
後期 研修 2年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	公立玉名	熊本医療センター	熊本医療センター	熊本医療センター
	領域	内科 (総診Ⅱ)	小児科	小児科	小児科	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	救急	救急	救急
後期 研修 3年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	人吉医療センター	人吉医療センター	人吉医療センター	公立玉名	公立玉名	天草地域医療センター	公立小国	公立小国	公立小国	そよう病院	そよう病院	そよう病院
	領域	外科	外科	産婦人科	皮膚科	整形外科	放射線科	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅰ

※ 代表的な例を書いてください。募集定員全員のローテーション表は不要です。

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ ( 6 ) カ月			総合診療専門研修Ⅱ ( 6-12 ) カ月		
領域別 研修	内科 ( 12 ) カ月	小児科 ( 3 ) カ月	救急科 ( 3 ) カ月	その他 ( 0-6 ) カ月		

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ ( 6-12 ) カ月			総合診療専門研修Ⅱ ( 6 ) カ月		
領域別 研修	内科 ( 12 ) カ月	小児科 ( 3 ) カ月	救急科 ( 3 ) カ月	その他 ( 0-6 ) カ月		

※ 研修場所・施設によっては、小児科・救急科はブロック研修が困難な場合、並行研修（カリキュラム制）もあり得る。

## 5. 準備が必要な研修項目

**地域での健康増進活動**

実施予定場所 ( 総合診療 I あるいは II の研修施設 )

実施予定の活動 ( 地域住民を対象にした、健康教室や禁煙教室での講師 )

実施予定時期 ※どのローテーション中に実施するか

(総合診療 I あるいは II の研修中に行う。指導医と相談の上、最低、年に一回の発表を行う。)

**教育 (学生、研修医、専門職に対するもの)**

実施予定場所 ( 各研修先施設、特に教育拠点である公立玉名中央病院と天草地域医療センター )

実施予定の活動 ( 屋根瓦教育体制の中での直接指導、教育セミナーや勉強会の講師 )

実施予定時期 ※どのローテーション中に実施するか

(学生や研修医がいる場合には、日常の診療の中で教育活動を行う。加えて、どのローテーション中であっても、研修中に適宜、問題となった症例やトピックが生じたときに行い、また定期的な学習会での講師役を務める。)

**研究**

実施予定場所 ( 熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座 )

実施予定の活動 ( 大学教員の指導の下、日常診療から得たリサーチ・クエスチョンに関して、研究デザインを選択して、実施、学会発表や論文にまとめる。)

実施予定時期 ※どのローテーション中に実施するか

(本人の希望や興味のあるテーマに関して、3年間を通じて計画的に指導医の指導やサポートを受けながら行う。)

また選択研修として、熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座での研究活動を行うことも出来る。)

**6. 専攻医の評価方法 (各項目を満たすとき、口を塗りつぶす (■のように))**

※形成的評価と総括的评价を研修修了認定の方法も含めて具体的に記入してください。

**形成的評価**

■研修手帳の記録及び定期的な指導医との振り返りセッションを定期的実施する

(頻度：1-2回/月でローテーション中、および、年に4-6回のレジデントデイにて)

■経験省察研修録 (ポートフォリオ) 作成の支援を通じた指導を行う

(頻度：1-2回/月でローテーション中、および、年に4-6回のレジデントデイにて)

■作成した経験省察研修録 (ポートフォリオ) の発表会を行う

(頻度：年に4-6回のレジデントデイにて、参加者の範囲、専攻医、指導医)

■実際の業務に基づいた評価 (Workplace-based assessment) を定期的実施する

(頻度：数回/年、ローテーション毎)

■多職種による360度評価を各ローテーション終了時等、適宜実施する

■年に複数回、他の専攻医との間で相互評価セッションを実施する

■ローテート研修における生活面も含めた各種サポートや学習の一貫性を担保するために専攻医にメンターを配置し定期的に支援するメンタリングシステムを構築する

■メンタリングセッションは数ヶ月に一度程度を保証する

**総括的评价**

■総合診療専門研修 I・II の研修終了時には、研修手帳に専攻医が記載した経験目標に対する自己評価の確認と到達度に対する評価を総合診療専門研修指導医が実施する。

■内科ローテート研修において、症例登録・評価のため、内科領域で運用する専攻医登録評価システム (Web 版研修手帳) による登録と評価を行う。研修終了時には病歴要約評価を含め、技術・技能評価、専攻医の全体評価結果を内科指導医が確認し、総合診療プログラムの統括責任者に報告する。

■3ヶ月の小児科の研修終了時には、小児科の研修内容に関連した評価を小児科の指導医が実施する

■3ヶ月の救急科の研修終了時には、救急科の研修内容に関連した評価を救急科の指導医が実施する

■以下の基準でプログラム統括責任者はプログラム全体の修了評価を実施する

(1) 研修期間を満了し、かつ認定された研修施設で総合診療専門研修 I および II 各 6 ヶ月以上・合計 18 ヶ月以上、内科研修 12 ヶ月以上、小児科研修 3 ヶ月以上、救急科研修 3 ヶ月以上を行っており、それぞれの指導医から修了に足る評価が得られている

(2) 専攻医自身による自己評価と省察の記録、作成した経験省察研修録 (ポートフォリオ) を通じて、到達目標がカリキュラムに定められた基準に到達している

(3) 研修手帳に記録された経験目標が全てカリキュラムに定められた基準に到達している

なお、研修期間中複数回実施される、医師・看護師・事務員等の多職種による360度評価 (コミュニケーション、チー

ムワーク、公益に資する職業規範)の結果も重視する
<b>研修修了認定の方法(総括的評価結果の判断の仕方・修了認定に関わるメンバー)</b> 修了判定会議のメンバー <input checked="" type="checkbox"/> 研修プログラム管理委員会と同一 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 修了判定会議の時期 ( 1-2 月頃に開催 )
<b>7. プログラムの質の向上・維持の方法</b>
<b>研修プログラム管理委員会</b> 委員会の開催場所 ( 熊本大学病院 ) 委員会の開催時期 ( 5 月、および 12 月頃、書面による会議も適宜行う )
<b>専攻医からの個々の指導医に対する評価</b> 評価の時期 ( 各ローテーション終了前 ) 評価の頻度 ( 各ローテーション先につき一回 ) 評価結果の利用法 ( 匿名化した上で、研修プログラム管理委員会での報告、各指導医へのフィードバック、FD での検討資料として)
<b>研修プログラムに対する評価</b> 評価の時期 ( 年度末の研修プログラム管理委員会開催の約一か月前 ) 評価の頻度 ( 年に一回、前年度の専攻医よりの評価結果を踏まえて ) 評価結果の利用法 ( 研修プログラム管理委員会で公開し、プログラム改善のための討論の材料とし、プログラムの修正を行う。)

<b>8. 専門研修施設群</b>
基幹施設の施設要件 (各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように)) <input type="checkbox"/> 総合診療専門研修Ⅰの施設基準を満たしている。 <input type="checkbox"/> 総合診療専門研修Ⅱの施設基準を満たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 大学病院で研修全体の統括組織としての役割を果たしている、あるいは適切な病院群を形成している施設である。  研修施設群全体の要件。 <input checked="" type="checkbox"/> 総合診療専門研修Ⅰとして、のべ外来患者数 400 名以上/月、のべ訪問診療件数 20 件以上/月である。 <input checked="" type="checkbox"/> 総合診療専門研修Ⅱとして、のべ外来患者数 200 名/月以上、入院患者総数 20 名以上/月である。 <input checked="" type="checkbox"/> 小児科研修として、のべ外来患者数 400 名以上/月である。 <input checked="" type="checkbox"/> 救急科研修として、救急による搬送等の件数が 1000 件以上/年である。  地域医療・地域連携への対応 <input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島、被災地、医療資源の乏しい地域での研修が 1 年以上である。 具体的に記載： 施設名 (阿蘇医療センター) 市町村名 (阿蘇市) 研修科目 (総診Ⅰ、小児科) 研修期間 (3-12 か月) 施設名 (小国公立病院) 市町村名 (阿蘇郡小国町) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-12 か月) 施設名 (国民健康保険天草市立河浦病院) 市町村名 (天草市) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-12 か月) 施設名 (天草市立栖本病院) 市町村名 (天草市) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-12 か月) 施設名 (山都町包括医療センターそよう病院) 市町村名 (上益城郡山都町) 研修科目 (総診Ⅰ、外科) 研修期間 (1-12 か月) 施設名 (球磨郡公立多良木病院) 市町村名 (球磨郡多良木町) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-12 か月) 施設名 (天草市立新和病院) 市町村名 (天草市) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-12 か月) 施設名 (沢田内科医院) 市町村名 (熊本市) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-6 か月) 施設名 (安成医院) 市町村名 (玉名郡玉東町) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-6 か月) 施設名 (御所浦診療所) 市町村名 (天草市) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-12 か月) 施設名 (八代市立椎原診療所) 市町村名 (八代市) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-6 か月) 施設名 (上天草市立湯島へき地診療所) 市町村名 (上天草市) 研修科目 (総診Ⅰ) 研修期間 (3-6 か月) 施設名 (国立病院機構・熊本医療センター) 市町村名 (熊本市) 研修科目 (総診Ⅱ、救急科、精神科) 研修期間 (1-6 か月) 施設名 (上天草市立上天草総合病院) 市町村名 (上天草市) 研修科目 (総診Ⅱ、内科) 研修期間 (3-6 か月) 施設名 (公立玉名中央病院) 市町村名 (玉名市) 研修科目 (総診Ⅱ、内科、小児科、救急科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科) 研修期間 (1-12 か月) 施設名 (人吉医療センター) 市町村名 (人吉市) 研修科目 (総診Ⅱ、内科、小児科、救急科、外科、産婦人科、放射線科) 研修期間 (1-12 か月) 施設名 (天草都市医師会立天草地域医療センター) 市町村名 (天草市) 研修科目 (総診Ⅱ、内科、小児科、救急科、

外科、整形外科、泌尿器科、放射線科) 研修期間(1-12か月)  
 施設名(水俣市立総合医療センター) 市町村名(水俣市) 研修科目(総診Ⅱ) 研修期間(3-6か月)  
 施設名(地域医療機能推進機構熊本総合病院) 市町村名(八代市) 研修科目(内科、外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科) 研修期間(1-12か月)  
 施設名(くまもと森都総合病院) 市町村名(熊本市) 研修科目(内科) 研修期間(3-12か月)  
 施設名(熊本赤十字病院) 市町村名(熊本市) 研修科目(内科) 研修期間(3-12か月)  
 施設名(山鹿市民医療センター) 市町村名(山鹿市) 研修科目(外科) 研修期間(1か月)  
 施設名(天草中央総合病院) 市町村名(天草市) 研修科目(産婦人科、放射線科) 研修期間(1か月)  
 ※阿蘇医療センター及び小国公立病院は、公共交通機関が未だ不通であり、平成28年4月の熊本地震の被災地に位置する。

基幹施設がへき地※に所在している。  
 へき地※での研修期間が2年以上である。  
 具体的に記載:  
 施設名( ) 市町村名( ) 研修科目( ) 研修期間( ) か月)  
 施設名( ) 市町村名( ) 研修科目( ) 研修期間( ) か月)  
 施設名( ) 市町村名( ) 研修科目( ) 研修期間( ) か月)

※過疎地域自立推進特別措置法に定める過疎地域。詳細は総務省ホームページ参照  
[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/2001/kaso/kasomain0.htm](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/2001/kaso/kasomain0.htm)  
[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000456268.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000456268.pdf)

9. 基幹施設			
研修施設名	熊本大学病院		
所在地	住所 〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1-1 電話 096-373-5794 FAX 096-373-5796 E-mail: chiiki_soushin(アットマーク)kumamoto-u.ac.jp		
プログラム統括責任者氏名	松井 邦彦	指導医登録番号	
プログラム統括責任者 部署・役職	救急・総合診療部・教授		
事務担当者氏名	山並 美緒		
連絡担当者連絡先	住所 〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1-1 電話 096-373-5794 FAX 096-373-5796 E-mail: chiiki_soushin(アットマーク)kumamoto-u.ac.jp		
基幹施設のカテゴリー	<input type="checkbox"/> 総合診療専門研修Ⅰの施設 <input type="checkbox"/> 総合診療専門研修Ⅱの施設 <input checked="" type="checkbox"/> 大学病院		
基幹施設の所在地	二次医療圏名(熊本医療圏) 都道府県の定めるへき地(8. 研修施設群参照)の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ		
施設要件(各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす(■のように))			
■総合診療以外の18基本診療領域の基幹施設機能を、本プログラム統括責任者が所属する診療科あるいは部門では担当していない(プログラム基幹施設の役割を診療科・部門が兼任していない)			
■本プログラム以外の総合診療専門研修プログラムを本基幹施設は運営していない プログラム統括責任者が常勤で勤務し、コーディネーターとしての役目を十分果たせるように時間的・経済的な配慮が十分なされている			
■専門研修施設群内での研修情報等の共有が円滑に行われる環境(例えばTV会議システム等)が整備されている			
■プログラム運営を支援する事務の体制が整備されている			
■研修に必要な図書や雑誌、インターネット環境が整備されている			
※研修用の図書冊数(大学病院に医学部附属図書館が併設、電子ジャーナルの閲覧も可能)			
※研修用の雑誌冊数(大学病院に医学部附属図書館が併設、電子ジャーナルの閲覧も可能)			
※専攻医が利用できる文献検索や二次資料の名称(UptoDate、今日の臨床サポート、Procedures consult)			
※インターネット環境			
■LAN接続のある端末			
■ワイヤレス			
■自施設で臨床研究を実施したり、大学等の研究機関と連携した研究ネットワークに加わったりするなど研究活動が活発に行われている			

具体例（大学病院の一部門であり、臨床疫学的手法を基に、さまざまな臨床研究や地域医療関連の研究を行っている。）

## 連携施設

10. 連携施設	
連携施設名	阿蘇医療センター
所在地	住所 〒869-2225 阿蘇市黒川 1266 電話 (0967) 34-0311 FAX (0967) 34-2273 E-mail
連携施設担当者氏名	甲斐 豊
連携施設担当者 部署・役職	病院長
事務担当者氏名	井野 洋
連絡担当者連絡先	住所 〒869-2225 阿蘇市黒川 1266 電話 (0967) 34-0312 FAX (0967) 34-2273 E-mail ino-h(アットマーク)aso-mc.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 阿蘇 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	小国公立病院
所在地	住所 〒869-2501 阿蘇郡小国町大字宮原 1 7 4 3 番地 電話 (0967) 46-3111 FAX (0967) 46-4936 E-mail
連携施設担当者氏名	坂本 英世
連携施設担当者 部署・役職	病院長
事務担当者氏名	河津 扶美
連絡担当者連絡先	住所 〒869-2501 阿蘇郡小国町大字宮原 1 7 4 3 番地 電話 (0967) 46-3111 FAX (0967) 46-4936 E-mail hu-kawazu(アットマーク)ogunihp.or.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 阿蘇 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	国民健康保険天草市立河浦病院
所在地	住所 〒863-1215 天草市河浦町白木河内 223 番地 11 電話 (0969) 76-1151 FAX (0969) 76-1199 E-mail
連携施設担当者氏名	中川 和宏
連携施設担当者 部署・役職	病院長
事務担当者氏名	齊藤 恭成
連絡担当者連絡先	住所 〒863-1215 天草市河浦町白木河内 223 番地 11 電話 (0969) 76-1151 (内 103) FAX (0969) 76-1199 E-mail kawaura-hp(アットマーク)city.amakusa.lg.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 天草 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	天草市立栖本病院
所在地	住所 〒861-6303 天草市栖本町馬場 2560 番地 14 電話 (0969) 66-2165 FAX (0969) 66-3201 E-mail
連携施設担当者氏名	水流添 覚
連携施設担当者 部署・役職	病院長
事務担当者氏名	事務局管理係 係長 松田 富昭
連絡担当者連絡先	住所 〒861-6303 天草市栖本町馬場 2560 番地 14 電話 (0969) 66-2165 FAX (0969) 66-3201 E-mail sumoto-hp(アットマーク)city.amakusa.lg.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 天草 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である →■はい □いいえ

連携施設名	山都町包括医療センターそよう病院
所在地	住所 〒861-3902 上益城郡山都町滝上 4 7 6 番地 2 電話 (0967) 83-1122 FAX (0967) 83-1124 E-mail
連携施設担当者氏名	山下 太郎
連携施設担当者 部署・役職	病院長
事務担当者氏名	今村 順一
連絡担当者連絡先	住所 〒861-3902 上益城郡山都町滝上 4 7 6 番地 2 電話 (0967) 83-1122 FAX (0967) 83-1124 E-mail master(アットマーク)soyo-hospital.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 上益城 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である →■はい □いいえ

連携施設名	球磨郡公立多良木病院
所在地	住所 〒868-0598 球磨郡多良木町多良木 4 2 1 0 番地 電話 (0966) 42-2560 FAX (0966) 42-6788 E-mail
連携施設担当者氏名	春口 洋賜
連携施設担当者 部署・役職	在宅医療センター長
事務担当者氏名	松窪 路子
連絡担当者連絡先	住所 〒868-0598 球磨郡多良木町多良木 4 2 1 0 番地 電話 (0966) 42-2560 FAX (0966) 42-6788 E-mail info(アットマーク)taragihp.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 球磨 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である →■はい □いいえ

連携施設名	天草市立新和病院
所在地	住所 〒 863-0101 天草市新和町小宮地 763 番地 3

	電話 (0969) 46-2003 FAX (0969-46-2076) E-mail
連携施設担当者氏名	濱崎 豊
連携施設担当者 部署・役職	病院長
事務担当者氏名	益田 茂
連絡担当者連絡先	住所 〒 863-0101 天草市新和町小宮地 763 番地 3 電話 (0969) 46-2003 FAX (0969-46-2076) E-mail shinwahp(アットマーク)city.amakusa.lg.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 天草 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	沢田内科医院
所在地	住所 〒862-0924 熊本市中央区帯山4丁目 21-22 電話 (096) 382-6401 FAX (096) 382-9638 E-mail
連携施設担当者氏名	澤田 知宏
連携施設担当者 部署・役職	院長
事務担当者氏名	澤田 知宏
連絡担当者連絡先	住所 〒862-0924 熊本市中央区帯山4丁目 21-22 電話 (096) 382-6401 FAX (096) 382-9638 E-mail beltmt(アットマーク)cure.ocn.ne.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 熊本 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	安成医院
所在地	住所 〒869-0303 玉名郡玉東町木葉 755-6 電話 (0968) 85-2047 FAX (0968) 85-2931 E-mail yasunari7abn(アットマーク)gmail.com
連携施設担当者氏名	安成 英文
連携施設担当者 部署・役職	院長
事務担当者氏名	安成 英文
連絡担当者連絡先	住所 〒869-0303 玉名郡玉東町木葉 755-6 電話 (0968) 85-2047 FAX (0968) 85-2931 E-mail yasunari7abn(アットマーク)gmail.com
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 有明 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	御所浦診療所
所在地	住所 〒866-0313 天草市御所浦町御所浦 2891 番地 3 電話 (0969) 67-2007 FAX (0969) 67-3520 E-mail
連携施設担当者氏名	古賀 義規

連携施設担当者 部署・役職	診療所所長
事務担当者氏名	岩下 富一
連絡担当者連絡先	住所 〒866-0313 天草市御所浦町御所浦 2891 番地 3 電話 (0969) 67-2007 FAX (0969) 67-3520 E-mail iwashita-to(アットマーク)city.amakusa.lg.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 天草 ) 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	八代市立椎原診療所
所在地	住所 〒869-4514 八代市泉町椎原 3-1 6 電話 (0965) 67-5151 FAX (0965) 67-5181 E-mail shiibuclinic(アットマーク)gmail.com
連携施設担当者氏名	北本 晋一
連携施設担当者 部署・役職	診療所所長
事務担当者氏名	北本 晋一
連絡担当者連絡先	住所 〒869-4514 八代市泉町椎原 3-1 6 電話 (0965) 67-5151 FAX (0965) 67-5181 E-mail
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 八代 ) 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	上天草市立湯島へき地診療所
所在地	住所 〒 869-3711 熊本県上天草市大矢野町湯島 655 電話 0964-56 - 4161 FAX 0964-56 - 5468 E-mail
連携施設担当者氏名	松下 晴香
連携施設担当者 部署・役職	診療所所長
事務担当者氏名	松下 晴香
連絡担当者連絡先	住所 〒 869-3711 熊本県上天草市大矢野町湯島 655 電話 0964-56 - 4161 FAX 0964-56 - 5468 E-mail
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 天草 ) 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	国立病院機構・熊本医療センター
所在地	住所 〒860-0008 熊本市中央区二の丸 1-5 電話 096-353-6501 FAX 096-325-2519 E-mail
連携施設担当者氏名	山内 浩史
連携施設担当者 部署・役職	庶務係長
事務担当者氏名	山内 浩史
連絡担当者連絡先	住所 〒860-0008 熊本市中央区二の丸 1-5 電話 096-353-6501 FAX 096-325-2519

	E-mail 613-syomu(アットマーク)mail.hosp.go.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 熊本 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	上天草市立上天草総合病院
所在地	住所 〒866-0202 上天草市龍ヶ岳町高戸1419番地19 電話 (0969)62 - 1122 FAX (0969 ) 62 -1546 E-mail kamiama(アットマーク)cityhosp-kamiamakusa.jp
連携施設担当者氏名	和田 正文
連携施設担当者 部署・役職	診療部長兼内科部長
事務担当者氏名	平岡 英治
連絡担当者連絡先	住所 〒866-0202 上天草市龍ヶ岳町高戸1419番地19 電話 (0969)62 - 1122 FAX (0969 ) 62 -1546 E-mail e-hiraoka(アットマーク)cityhosp-kamiamakusa.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 天草 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	公立玉名中央病院
所在地	住所 〒865-0064 玉名市中1950番地 電話 (0968)73-5000 FAX (0968)73-5300 E-mail
連携施設担当者氏名	前川 久美子
連携施設担当者 部署・役職	研修担当事務
事務担当者氏名	前川 久美子
連絡担当者連絡先	住所 〒865-0064 玉名市中1950番地 電話 (0968)73-5000 FAX (0968)73-5300 E-mail soudan(アットマーク)tamana-chp.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 有明 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	人吉医療センター
所在地	住所 〒868-8555 人吉市老神町35番地 電話 (0966)22-2191 FAX (0966)24-2116 E-mail
連携施設担当者氏名	田浦 尚宏
連携施設担当者 部署・役職	総合診療部長
事務担当者氏名	西山 三智
連絡担当者連絡先	住所 〒868-8555 人吉市老神町35番地 電話 (0966)22-2191 (内699) FAX (0966)24-2116 E-mail main(アットマーク)hitoyoshi.jcho.go.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 球磨 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である

	→ <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
--	---

連携施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター
所在地	住所 〒863-0046 天草市亀場町食場 854-1 電話 (0969) 24-4111 FAX (0969) 23-4086 E-mail
連携施設担当者氏名	高田 登
連携施設担当者 部署・役職	診療部長
事務担当者氏名	平山 祐基
連絡担当者連絡先	住所 〒863-0046 天草市亀場町食場 854-1 電話 (0969) 24-4111 FAX (0969) 23-4086 E-mail soumu(アットマーク)amed.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 天草 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	水俣市立総合医療センター
所在地	住所 〒867-0041 水俣市天神町 1丁目 2番 1号 電話 (0966) 63-2101 FAX (0966) 63-1393 E-mail minamata-sic01(アットマーク)ar.wakwak.com
連携施設担当者氏名	柏木 和也
連携施設担当者 部署・役職	経理課経営企画係 参事
事務担当者氏名	柏木 和也
連絡担当者連絡先	住所 〒867-0041 水俣市天神町 1丁目 2番 1号 電話 (0966) 63-2101 (内 584) FAX (0966) 63-1393 E-mail minamata-sic01(アットマーク)ar.wakwak.com
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 芦北 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	地域医療機能推進機構熊本総合病院
所在地	住所 〒866-8660 八代市通町 10番 10号 電話 (0965) 32-7111 FAX (0965) 32-2772 E-mail main(アットマーク)kumamoto.jcho.go.jp
連携施設担当者氏名	吉原 翔太郎
連携施設担当者 部署・役職	総務企画課 事務員
事務担当者氏名	吉原 翔太郎
連絡担当者連絡先	住所 〒866-8660 八代市通町 10番 10号 電話 (0965) 32-7111 FAX (0965) 32-2772 E-mail yoshihara-shoutarou(アットマーク)kumamoto.jcho.go.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 八代 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	くまもと森都総合病院
所在地	住所 〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65 電話 (096) 364-6000 FAX (096) 362-5204

	E-mail
連携施設担当者氏名	間 洋希
連携施設担当者 部署・役職	総務課
事務担当者氏名	間 洋希
連絡担当者連絡先	住所 〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65 電話 (096) 364-9760 FAX (096) 362-5204 E-mail hazama(アットマーク)k-shinto.or.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 熊本・上益城 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	熊本赤十字病院
所在地	住所 〒861-8520 熊本市東区長嶺南二丁目 1 番 1 号 電話 (096) 384-211 FAX (096) 384-3939 E-mail
連携施設担当者氏名	前田 亜里沙
連携施設担当者 部署・役職	教育研修推進課 主事
事務担当者氏名	前田 亜里沙
連絡担当者連絡先	住所 〒861-8520 熊本市東区長嶺南二丁目 1 番 1 号 電話 (096) 384-2111 FAX (096) 384-3939 E-mail rinsyokensyu(アットマーク)kumamoto-med.jrc.or.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 熊本 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	山鹿市民医療センター
所在地	住所 〒861-0593 山鹿市山鹿 511 番地 電話 (0968) 44-2185 FAX (0968) 44-2420 E-mail
連携施設担当者氏名	田尻 祐介
連携施設担当者 部署・役職	経営管理課 課長補佐
事務担当者氏名	田尻 祐介
連絡担当者連絡先	住所 〒861-0593 山鹿市山鹿 511 番地 電話 (0968) 44-2185 FAX (0968) 44-2420 E-mail hp-soumu(アットマーク)yamaga-mc.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 鹿本 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

連携施設名	天草中央総合病院
所在地	住所 〒863-0033 天草市東町 1 0 1 番地 電話 (0969) 22-0011 FAX (0969) 24-2105 E-mail
連携施設担当者氏名	海野 聡美
連携施設担当者 部署・役職	総務企画課 係長

事務担当者氏名	海野 聡美
連絡担当者連絡先	住所 〒863-0033 天草市東町101番地 電話 (0969) 22-0011 FAX (0969) 24-2105 E-mail soumu(アットマーク)amakusa.jcho.go.jp
連携施設の所在地	二次医療圏名 ( 天草 ) 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である → <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

## 総合診療専門研修 I

総合診療専門研修 I の施設一覧

都道府県 コード	医療機関 コード	へき地・離島、被災地 (該当する場合はチェック)	施設名	基幹施設・ 連携施設の別
43	8210558	<input type="checkbox"/> へき地・離島 <input checked="" type="checkbox"/> 被災地	阿蘇医療センター	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8210749	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input checked="" type="checkbox"/> 被災地	小国公立病院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8210061	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	国民健康保険天草市立河浦病院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8211564	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	天草市立栖本病院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8210053	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	山都町包括医療センターそよう病院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8212273	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	球磨郡公立多良木病院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8211770	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	天草市立新和病院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	0125135	<input type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	沢田内科医院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	2411228	<input type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	安成医院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8211457	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	天草市立御所浦診療所	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8212240	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	八代市立椎原診療所	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8211952	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	上天草市立湯島へき地診療所	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	阿蘇医療センター		
診療科名	( 内科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 (124) 床    診療科病床数 (99) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	( 3~12 ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (3 か月単位で複数の施設で研修可能)		
常勤指導医氏名 1	甲斐 豊	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2		指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b>			
後期高齢者診療			
<input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている			
学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ)			
<input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する			
具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか ( )			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない			
経験を補完できない理由 ( )			
学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 ( )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている			
具体的な体制と方略 (夜間、休日も当直医が勤務している。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する			
具体的な体制と方略 (研修機関中、一定の患者に対する主治医として対応可能である。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当			
具体的な体制と方略 (救急患者の受け入れは 24 時間可能、慢性期の患者の受け入れも可能。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する			
具体的な体制と方略 (多職種のが月 1 回開催されている。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する			
具体的な状況 (0~100 までの様々な年齢層の患者が入院・通院している。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する			
具体的な内容と方法 (住民への出前講座を計画、特別養護老人ホームの嘱託医、産山村診療所への医師派遣)			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している			

それぞれの概ねの頻度（必要に応じて、適宜行っている。）
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））
<input checked="" type="checkbox"/> のべ外来患者数 400名以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ <span style="float:right">）</span>
<input checked="" type="checkbox"/> のべ訪問診療数 20件以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ <span style="float:right">）</span>
研修中に定期的に行う教育
当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （月から金まで毎朝カンファレンスを実施。 <span style="float:right">）</span> 他の施設で行う教育・研修機会 （ <span style="float:right">）</span>
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること
本プログラム以外の参加プログラム数（ <span style="float:right">0</span> ） プログラム名（ <span style="float:right">）</span> プログラム名（ <span style="float:right">）</span> プログラム名（ <span style="float:right">）</span>

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	小国公立病院		
診療科名	( 総合診療科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 ( 73 ) 床    診療科病床数 (    ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	(    3 - 12    ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 (    )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (3 か月単位で複数の施設で研修可能)		
常勤指導医氏名 1	坂本 英世	指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 2	堀江 英親	指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 3	片岡 恵一郎	指導医登録番号	(    )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b>			
後期高齢者診療			
<input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている			
学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ)			
<input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか (    )			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 (    ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 (    )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 ( 夜間・土日祝日は宿日直 (医師 1 名・看護師 1 名・事務 1 名) 体制にて一次・二次の救急 (診療や入院・救急搬送) に対応し、必要の場合は高度の医療機関と連携し搬送する。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (指導医とともに入院患者を受け持ち治療する。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 ( 救急指定病院、各種検診、訪問診療、見取りを行っている。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (地域の基幹病院として地域の他の医療機関、介護保険関係施設・各種事業所、福祉施設、行政機関と連携して地域住民の保健医療福祉の向上に努めている。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 (他世代家族の在宅・入院・外来診療を行う。治療は様々で、高齢世代の様々な健康問題 (認知症や			

介護等も)働く世代の健康診断や子・孫世代の予防接種・健康問題に対応している。( )
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法(地域の小グループの集会へ出前講座を行っている。( ))
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度(訪問看護ステーションを介して適宜行っている。( ))
診療実績(各項目を満たすとき、口を塗りつぶす(■のように))
<input checked="" type="checkbox"/> のべ外来患者数 400名以上/月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 ( )
<input type="checkbox"/> のべ訪問診療数 20件以上/月 <input checked="" type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略(町内の養護老人ホームと連携して、月に1回ホーム診療を行っている。( ))
研修中に定期的に行う教育
当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 (月1回以上の勉強会、カルテチェックは連日行っている。( )) 他の施設で行う教育・研修機会 (近隣の施設とのカンファレンス等を行っており、できるだけ多く参加する。( ))
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること
本プログラム以外の参加プログラム数 ( 2 ) プログラム名( 国立病院機構熊本医療センター ) プログラム名( 熊本赤十字病院 ) プログラム名( )

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	国民健康保険天草市立河浦病院		
診療科名	(総合診療 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 ( 99 ) 床 診療科病床数 ( 39 ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	( 3-12 ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3 か月単位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	中川 和浩	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2		指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b> 後期高齢者診療 <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている  学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか ( ) <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 ( ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 ( )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (夜間は交替で当直体制、当直 Ns が電話で対応をとっている。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (長くかかっている患者が多く、継続的な診療は可能。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (概ね可能。ただ手に負えない疾患など専門医のいる大病院へ依頼することもある。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (近くの特養や救護施設などに定期的に往診を行っている。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 ( 地域のかかりつけ医として、家族全員が当施設に受診していることが多い。職員も地元の人が多く、顔見知りが多い。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法 ( 天草市と協力して健康教室などを実施している。 )			

<p>■在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している                  それぞれの概ねの頻度（訪問診療は、定期的に行っているのは現在 1 名だが、必要に応じ施行するようにはしている。）</p>
<p>診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））</p>
<p>■のべ外来患者数 400 名以上／月                  □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略                  （ ）</p>
<p>□のべ訪問診療数 20 件以上／月                  ■上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略（ 特別養護老人ホーム、介護施設訪問診療等でカバー ）</p>
<p>研修中に定期的に行う教育</p>
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会                  （ 毎週、月、金にカンファレンスを実施 ）                  他の施設で行う教育・研修機会                  （ ）</p>
<p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること</p>
<p>本プログラム以外の参加プログラム数 （ 1 ）                  プログラム名（熊本赤十字病院総合診療専門研修プログラム ）                  プログラム名（ ）                  プログラム名（ ）</p>

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	天草市立栖本病院		
診療科名	( 内科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 ( 70 ) 床    診療科病床数 ( 24 ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	( 3 - 12 ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 ( 8. 研修施設群参照 ) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3 か月単位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	水流添 覚	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2		指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b> 後期高齢者診療 <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている  学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか ( ) <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 ( ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 ( 症例数が不足する場合は、天草市立牛深市民病院小児科で経験を補足する。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (当院は救急指定病院であり、対応可能である。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (入院から外来まで継続的診療を行う。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (入院及び外来の診療により担当可能。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (ケア担当者会議を通じて、連携について学習する。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 ( 地域に密着した病院であり、家族受診が多い。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法 ( 地域での講演など。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度 ( 訪問は月 1 ~ 2 回、他院患者の受入れは週 1 回程度。 )			



総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	山都町包括医療センターそよう病院		
診療科名	(内科、外科、循環器内科、消化器外科、呼吸器内科、整形外科、小児外科、小児科、リハビリテーション科、消化器内科、総合診療科、救急科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 ( 57 ) 床    診療科病床数 (    ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	(    3 - 12    ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 (    )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (    3 か月単位で複数の施設で研修可能    )		
常勤指導医氏名 1	水本 誠一	指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 2	竹本 隆博	指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	(    )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b> 後期高齢者診療 <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている  学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか (    ) <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 (    ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 (    )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (救急告示病院、病院群輪番制病院、へき地拠点病院であるため、夜間はほぼ当院を受診)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (県内 20 km 圏内に病院がない。訪問診療、訪問看護、特養の回診等も行っている。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (県内 20 km 圏内に病院がない。訪問診療、訪問看護、特養回診、その他学校医、行政との協議・各種政策決定の会議    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (近くに老人福祉施設があり嘱託医をしているため、十分なコンタクトが取れる    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 (もともと 3 世代以上の大家族が多く、既に姻戚関係を含めた家族志向型ケアを行っている。また、			

<p>高齢者が多いが付添いの家族の健康状態にも気を配り、孫世代には学校健診でアプローチしている。受診を断らない。( )</p>
<p>■地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法 ( 地域と協力して健康教室などを実施している。 )</p>
<p>■在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度 (週1回～2回程度)、訪問看護ステーションを併設している。( )</p>
<p>診療実績 (各項目を満たすとき、口を塗りつぶす (■のように))</p>
<p>■のべ外来患者数 400名以上/月 口上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 ( )</p>
<p>■のべ訪問診療数 20件以上/月 口上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 ( )</p>
<p>研修中に定期的に行う教育</p>
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 (診療録管理委員会を1回/月、入院患者カンファレンス1回/週、総合医ウェブ勉強会1回/週実施 ) 他の施設で行う教育・研修機会 (研修終了時に研修発表会を全職員の前で実施 )</p>
<p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること</p>
<p>本プログラム以外の参加プログラム数 ( 2 ) プログラム名 ( 熊本赤十字病院総合診療専門研修プログラム ) プログラム名 ( 国立病院機構熊本医療センター総合診療専門医研修プログラム ) プログラム名 ( )</p>

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	球磨郡公立多良木病院		
診療科名	( 内科・総合診療科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 (183) 床 診療科病床数 (48) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	( 3 - 12 ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3 か月半位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	春口 洋賜	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2	中津 卓郎	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3	大島 茂樹	指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b> 後期高齢者診療 <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている  学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) <input type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか ( ) <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 ( ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 ( 小児科のカンファレンスにも参加するように指導している。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (救急外来対応、訪問診療、往診体制。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (外来—入院治療—外来治療を継続できる体制あり。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (一般病床と在宅医療都の併用た体制あり。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (医療社会事業室を介して病院 (外来、病棟) とタの関係機関と連携できる。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 (特別な紹介状がなくても自由に病院受診ができる。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法 (住民検診、人間ドッグ事業)			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度 (在宅療養支援病院として 24 時間対応している。)			

診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））	
<input checked="" type="checkbox"/> のべ外来患者数 400名以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 （ ）	
<input checked="" type="checkbox"/> のべ訪問診療数 20件以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（	
研修中に定期的に行う教育	
当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （ 内科新患カンファレンス、救急カンファレンス、消化器カンファレンス等の開催、参加） 他の施設で行う教育・研修機会 （ 医師会での呼吸器、循環器勉強会、各種講演会（不定期） ）	
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること	
本プログラム以外の参加プログラム数	（ 3 ）
プログラム名	（ 熊本赤十字病院総合診療専門研修プログラム ）
プログラム名	（ 自治医科大学地域医療後期研修プログラム ）
プログラム名	（ JCHO人吉医療センター総合診療専門医研修プログラム ）

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	天草市立新和病院		
診療科名	( 内科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 ( 40 ) 床 診療科病床数 ( 40 ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	( 3-12 ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3か月単位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	濱崎 豊	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2	吉村 文孝	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b> 後期高齢者診療 <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている 学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか ( ) <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 ( ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 ( )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (当院は救急指定病院であり、対応可能である。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (入院から外来まで継続的診療を行う。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (入院及び外来の診療により対応可能)			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (ケア担当者会議を通じて、連携について学習する。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 ( 地域に密着した病院である )			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容与方法 ( 天草市と協力して健康教室などを実施している。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度 ( 訪問は月 2 回程度 )			

診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））	
<input checked="" type="checkbox"/> のべ外来患者数 400名以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 （ ）	
<input type="checkbox"/> のべ訪問診療数 20件以上／月 <input checked="" type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ 特別養護老人ホーム、介護施設訪問診療等でカバーする。 ）	
研修中に定期的に行う教育	
当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （院長回診、回診後症例検討の実施、カルテチェックは随時行う。 ） 他の施設で行う教育・研修機会 （ ）	
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること	
本プログラム以外の参加プログラム数	（ 0 ）
プログラム名	（ ）
プログラム名	（ ）
プログラム名	（ ）

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	沢田内科医院		
診療科名	( 内科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 (    ) 床    診療科病床数 (    ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	(    3 - 6    ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 (    )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (    3 か月単位で複数の施設で研修可能    )		
常勤指導医氏名 1	澤田 知宏	指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 2		指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	(    )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b>			
後期高齢者診療			
<input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている			
学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ)			
<input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか (    )			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 (    ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 (    )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (電話対応、往診等による 24 時間、365 日対応している。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (担当する患者を決める (研修期間中)    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 ( 救急の検査対応、慢性疾患の計画的な対応、管理栄養士による食事、運動の指導など。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (特殊な疾患、重症例等の専門医療機関との連携、介護福祉施設との連携。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 (昭和 42 年開業以来かかりつけとして通院している家族が多い。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法 (特定健診の実施、ワクチン接種、学校医活動など。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度 (在宅患者は通常 2,3 名、平成 26 年度に 4 名の患者を在宅 (自宅) で看取った。    )			

診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））	
<input checked="" type="checkbox"/> のべ外来患者数 400名以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 （ ）	
<input type="checkbox"/> のべ訪問診療数 20件以上／月 <input checked="" type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ 特別養護老人ホーム、介護施設訪問診療等でカバーする。 ）	
研修中に定期的に行う教育	
当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （ 現場で生じた疑問についての勉強会を開催し、カルテチェックは適宜行う。 ） 他の施設で行う教育・研修機会 （ ）	
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること	
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ） プログラム名 （ ） プログラム名 （ ） プログラム名 （ ）	

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	安成医院		
診療科名	(内科、外科、小児科、心療内科、胃腸科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 (    ) 床    診療科病床数 (    ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	(    3 - 6    ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 (    )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (    3 か月単位で複数の施設で研修可能    )		
常勤指導医氏名 1	安成 英文	指導医登録番号	(    2014-0328    )
常勤指導医氏名 2		指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	(    )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b> 後期高齢者診療 <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている  学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか (    ) <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 (    ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 (    )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (在宅医療を行っている医師が連携した、玉名在宅ネットワークの代表として、中心的な役割を果たし活動している。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (慢性疾患の患者のフォローとしてもらい、定期的にレビューを行う。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (週 9 コマの外来診療を、2~3 診療体制で行いながら、定期的、即時的にレビューを行う。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 ( サービス担当者会議への出席、定員 60 名の特別養護老人ホームへの週 1 回の回診と入所者の医学管理を行い、定期的にレビューする。行政会議などに参加し機会あれば助言を行う )			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 ( 町唯一の医療機関であるため、家族関係は比較的分かりやすい状況である。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容与方法 (地域住民を対象とした健康教室に講師として参加する。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している			

<p>それぞれの概ねの頻度（2020.5月現在8人の方の訪問診療を行っている。訪問時間は主に午後ですべての方に急変対応、緩和ケアは非がんの方にも適宜行っている。）</p>
<p>診療実績（各項目を満たすとき、<input type="checkbox"/>を塗りつぶす（■のように））</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/>のべ外来患者数 400名以上／月  <input type="checkbox"/>上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略（ ）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/>のべ訪問診療数 20件以上／月  <input type="checkbox"/>上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略（ ）</p>
<p>研修中に定期的に行う教育</p>
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会                  （現場で生じた疑問についての勉強会を開催し、カルテチェックは適宜行う。）                  他の施設で行う教育・研修機会                  （公立玉名中央病院総合診療科との合同カンファレンスや、同院でのテレビ会議システムを通じての大学とのカンファレンス）</p>
<p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること</p>
<p>本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ）                  プログラム名（ ）                  プログラム名（ ）                  プログラム名（ ）</p>

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	天草市立御所浦診療所		
診療科名	( 総合診療科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 (    ) 床    診療科病床数 (    ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	(    3 - 12    ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 (    )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (    3 か月単位で複数の施設で研修可能    )		
常勤指導医氏名 1	古賀 義規	指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 2		指導医登録番号	(    )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	(    )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b> 後期高齢者診療 <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている  学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか (    ) <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 (    ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 (    学校医としての活動にも参加させることにしている。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (平日は 24 時間体制ですが、土日は医師不在になります。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (一次医療までが中心で、緩和ケアの症例もある。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (島内の特別養護老人ホームやグループホーム、デイケアセンターと連携している。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 ( 家族全員が当院のかかりつけであることがほとんどである。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容与方法 ( 今のところは基本診療にとどまっていますが、今後予定しているものがあります。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している			

それぞれの概ねの頻度（訪問診療は月（1回）17人、往診は月約1回。）
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））
<input checked="" type="checkbox"/> のべ外来患者数 400名以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 （ ）
<input checked="" type="checkbox"/> のべ訪問診療数 20件以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略 （ ）
研修中に定期的に行う教育
当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （ 振返りで行うカルテチェックや疑問解決のための学習、研修最後に行う担当症例発表など ） 他の施設で行う教育・研修機会 （ ）
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ） プログラム名 （ ） プログラム名 （ ） プログラム名 （ ）

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	八代市立椎原診療所		
診療科名	(内科、小児科、外科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 (    ) 床    診療科病床数 (    ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	( 3 - 6 ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input type="checkbox"/> 配置あり <input checked="" type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 (    大学から週 1 回程度のオンライン指導    )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (    3 か月単位で複数の施設で研修可能    )		
常勤指導医氏名 1	指導医登録番号	(    )	
常勤指導医氏名 2	指導医登録番号	(    )	
常勤指導医氏名 3	指導医登録番号	(    )	
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b>			
後期高齢者診療			
<input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている			
学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ)			
<input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか (    )			
<input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 (    ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 (    )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (    平日のみが通常の診療日だが、医師がいる際には時間外診療を行っている。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 (    地域唯一の医療機関であり、ほぼすべての患者が継続診療である。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 (    地域唯一の診療機関であるため、急性期から慢性期終末期まで対応する。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 (    主に八代市、熊本市、人吉市の医療機関、福祉施設と連携している。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 (    家族全員で当診療所かかりつけという例が多い。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法 (    八代市が主体となり、健康教室などが行われている。    )			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度 (    現在 2 週間に一度、1 例に対して訪問診療を行っている。急変の際は、速やかに高次医療機関へ搬送する。    )			

診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））
□のべ外来患者数 400名以上／月 ■上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ 診療所で完結できない症例は、他施設で精査などしてもらっている。 ）
□のべ訪問診療数 20件以上／月 ■上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ へき地にて近隣に施設がないため、人吉医療センターと連携して研修を実施する。 ）
研修中に定期的に行う教育
当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （さまざまな場面で生じた疑問に対して、勉強会を開催する。適宜、カルテチェックを行う。） 他の施設で行う教育・研修機会 （ ）
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ） プログラム名 （ ） プログラム名 （ ） プログラム名 （ ）

総合診療専門研修 I を行う施設ごとの詳細

研修施設名	上天草市立湯島へき地診療所		
診療科名	( 総合診療科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 施設が病院のとき → 病院病床数 (    ) 床    診療科病床数 (    ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間	(    3-6    ) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input type="checkbox"/> 配置あり <input checked="" type="checkbox"/> 配置なし 常勤指導医なしの場合 <input checked="" type="checkbox"/> 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( TV 会議システムを介しての指導 )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (    3 か月単位で複数の施設で研修可能    )		
常勤指導医氏名 1	指導医登録番号	(    )	
常勤指導医氏名 2	指導医登録番号	(    )	
常勤指導医氏名 3	指導医登録番号	(    )	
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加			
<b>施設要件</b> 後期高齢者診療 <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において後期高齢者の診療を受け入れている  学童期以下の診療 (以下のうち一つを選ぶ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修診療科において学童期以下の患者の診療を受け入れている <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、施設内に研修診療科以外に小児科外来が存在し、そちらで経験を補完する <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れていないが、近隣の施設において経験を補完する 具体的に、どの施設でどのような頻度で補完するか (    ) <input type="checkbox"/> 学童期以下の患者は受け入れておらず、近隣の施設において経験を補完することができない 経験を補完できない理由 (    ) 学童期以下の患者の診療を経験するための工夫 (    )			
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている 具体的な体制と方略 (24 時間電話対応、場合によっては往診を行う。緊急を要する場合はヘリや船で高度医療機関へ搬送する。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する 具体的な体制と方略 ( 小さな島なので、患者一人ひとりに対して、一定の短い期間でも継続的な診療を提供することができる。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当 具体的な体制と方略 ( 普段の外来では慢性期、予防を中心に行い、時々急逝疾患も経験できる。在宅での緩和や公民館での健康教室などを行う。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する 具体的な体制と方略 ( 高度医療の提供は困難なため、島で対応できない場合は速やかに転院搬送する。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する 具体的な状況 ( 家族全員が当院のかかりつけであることがほとんどである。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する 具体的な内容と方法 ( 上天草市と協力して健康教室などを実施している。 )			

<p>■在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している それぞれの概ねの頻度（ 2週間毎に行っている。 ）</p>
<p>診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））</p>
<p>□のべ外来患者数 400名以上／月 ■上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ 月に300人以上受診はあるが、その他は専門病院や高度医療機関受診もあり。その病院らと連携している。）</p>
<p>□のべ訪問診療数 20件以上／月 ■上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ へき地で近隣に施設がないため、御所浦診療所と連携して研修を実施する。 ）</p>
<p>研修中に定期的に行う教育</p>
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （ 検査機器の少ない状況で、いかに診断し、判断するか勉強を行う。 ） 他の施設で行う教育・研修機会 （ ）</p>
<p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること</p>
<p>本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ） プログラム名 （ ） プログラム名 （ ） プログラム名 （ ）</p>

## 総合診療専門研修Ⅱ

### 総合診療専門研修Ⅱの施設一覧

都道府県 コード	医療機関 コード	へき地・離島、被災地 (該当する場合はチェック)	施設名	基幹施設・ 連携施設の別
43	8110501	<input type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	国立病院機構・熊本医療センター	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8211689	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	上天草市立上天草総合病院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8212075	<input type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	公立玉名中央病院	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8211366	<input type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	人吉医療センター	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	2010145	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	天草郡市医師会立天草地域医療センター	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8210988	<input checked="" type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	国保水俣市立総合医療センター	<input type="checkbox"/> 基幹 <input checked="" type="checkbox"/> 連携
43	8111269	<input type="checkbox"/> へき地・離島 <input type="checkbox"/> 被災地	熊本大学病院	<input checked="" type="checkbox"/> 基幹 <input type="checkbox"/> 連携

総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

研修施設名	国立病院機構・熊本医療センター		
診療科名	(総合診療科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	病院病床数 ( 550 ) 床 診療科病床数 ( 50 ) 床		
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	( 3 - 6 ) カ月		
常勤指導医の有無	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3か月単位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	辻 隆宏	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2	梶原 健吾	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題 (心理・社会・倫理的問題を含む) を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する			
<b>施設要件</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している			
<b>病棟診療</b> ：以下の全てを行っていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 (特に虚弱) ケア 具体的な体制と方略 ( 高齢者、老年医療の実践を行っている。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 ( ほとんどの患者が複数の疾患を有している。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 ( 全ての専門部間あり、コンサルト体制あり。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 ( 社会的弱者の 受入れ、医療社会福祉士の対応あり。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 ( 緩和チームの体制あり。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 ( 連携室により退院支援 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制 ( 在宅急変の受入れあり、救命救急センターあり。 )			
<b>外来診療</b> ：以下の診療全てを行っていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略 ( 救命救急センター、救急車 9,500 台/年 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略 ( 総合診療外来あり。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> よくある症候と疾患 具体的な体制と方略 ( 総合診療外来あり。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 臨床推論・EBM 具体的な体制と方略 ( 総合診療外来あり。 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略 ( 精神疾患等の身体合併症に対応 )			
<input checked="" type="checkbox"/> 診断困難患者への対応 具体的な体制と方略 ( 診断困難症例については、各科専門医と連携して共診を行っている。 )			



総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

研修施設名	上天草市立上天草総合病院		
診療科名	( 内科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	病院病床数 ( 195 ) 床 診療科病床数 ( 120 ) 床		
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	( 3 - 6 ) カ月		
常勤指導医の有無	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3か月単位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	脇田 富雄	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2	和田 正文	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 ■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する			
<b>施設要件</b>			
■一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する ■救急医療を提供している			
<b>病棟診療</b> ：以下の全てを行っていること			
■高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略 ( 療養病棟 46 床、理学療法士及び作業療法士等で行っている。 )			
■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 ( 他職種との連携、回診・カンファレンス等にて方針決定。緊急性のある場合は地域包括ケア病棟に転棟 )			
■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 ( 循環器内科 2 日/W、代謝内科 3 日/W、脳外科 1 日/2W、耳鼻科 3 日/W の大学からの応援 )			
■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 ( 他職種と行政、地域の方々など関係者を集めての会議 )			
■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 ( WHO の指針に従い緩和ケアを行っている。癌リハもやっている。 )			
■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 ( 地域包括ケア病棟の設置、退院時カンファレンスを行っている。 )			
■在宅患者の入院時対応 具体的な体制 ( 必要時に一般病棟又は地域包括ケア病棟に入院可 )			
<b>外来診療</b> ：以下の診療全てを行っていること			
■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略 ( 救急外来は 24 時間体制、初診外来は全ての疾患を内科外来で対応 )			
■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略 ( 総合診療科を標榜予定である。内科初診では症状ある全ての患者を治療 )			
■よくある症候と疾患 具体的な体制と方略 ( まず自身の外来で対処し、高い専門性が必要な場合は院内コンサルト若しくは専門病院へ送致 )			
■臨床推論・EBM 具体的な体制と方略 ( ガイドライン等を参照し、回診・カンファレンスを通じて方針決定 )			
■複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略 ( 多職種連携し、また状況に応じ附属の訪問看護ステーション、老健施設、デイケアで包括的にケアを行っている。 )			

<p>■診断困難患者への対応                  具体的な体制と方略（カンファレンス、状況に応じ高次病院への紹介）</p>
<p>診療実績（各項目を満たすとき、口を塗りつぶす（■のように））</p>
<p>■当該診療科におけるのべ外来患者数 200名以上／月                  □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略（ ）</p>
<p>■当該診療科における入院患者総数 20件以上／月                  □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略（ ）</p>
<p>研修中に定期的に行う教育</p>
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会                  （新患カンファレンス、デスクカンファレンス、回診、院内感染、労働安全等の多数の勉強会、リハビリカンファレンス、地域包括退院カンファレンス、薬剤勉強会、医局会での勉強会）                  他の施設で行う教育・研修機会                  （ ）</p>
<p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること</p>
<p>本プログラム以外の参加プログラム数（ 2 ）                  プログラム名（熊本赤十字病院総合診療専門研修プログラム）                  プログラム名（人吉医療センター総合診療専門研修プログラム）                  プログラム名（ ）</p>

総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

研修施設名	公立玉名中央病院		
診療科名	(総合診療科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	病院病床数 ( 302 ) 床 診療科病床数 (固定病床なし) 床		
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	( 3 - 6 ) カ月		
常勤指導医の有無	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3 か月単位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	小山 耕太	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2	松田 浩史	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 ■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する			
<b>施設要件</b>			
■一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する ■救急医療を提供している			
<b>病棟診療</b> ：以下の全てを行っていること			
■高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略 ( 急性期～慢性期まで、特に衰弱による高齢患者の病態に対して治療を行う。 )			
■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 ( 臓器別ではない、様々な健康問題を抱える患者に対して、必要に応じて他職種とのチーム医療を積極的に行う。 )			
■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 ( 的確なコンサルテーションを行う。 )			
■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 ( 臓器別ではない、様々な健康問題を抱える患者に対して、必要に応じて他職種とのチーム医療を積極的に行う。 )			
■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 ( 緩和ケアチームと共に横断的な診療科の癌患者を対象とした緩和ケアに取り組む。 )			
■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 ( 医療福祉連携室と共に近隣の医師と連携して退院前カンファレンスを開催する。 )			
■在宅患者の入院時対応 具体的な体制 ( 医療福祉連携室と共にかかりつけ医師と情報交換を行い、共同診療体制を執る。 )			
<b>外来診療</b> ：以下の診療全てを行っていること			
■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略 ( 平日の日勤帯の総合診療外来(主に初診外来)と不定期に夜間救急外来を担当する。 )			
■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略 ( 平日の日勤帯の総合診療外来(主に初診外来)、定期的日勤帯救急外来当番と不定期に夜間救急外来を担当する。 )			
■よくある症候と疾患 具体的な体制と方略 ( 平日の日勤帯の総合診療外来(主に初診外来)、定期的日勤帯救急外来当番と不定期に夜間救急外来を担当する。 )			
■臨床推論・EBM 具体的な体制と方略 ( 週4回の振り返り、プライマリケアレクチャの受講、大学と連携したカンファレンス・勉強			

会に参加する。 )
<p>■複数の健康問題への包括的なケア                  具体的な体制と方略 ( 臓器別ではない、様々な健康問題を抱える患者に対して、必要に応じて他職種とのチーム医療を積極的に行う。 )</p>
<p>■診断困難患者への対応                  具体的な体制と方略 ( 必要に応じて専門科医師や大学と連携したカンファレンスを行い、 )</p>
診療実績 (各項目を満たすとき、口を塗りつぶす (■のように))
<p>■当該診療科におけるのべ外来患者数 200名以上/月  <input type="checkbox"/>上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略 ( )</p>
<p>■当該診療科における入院患者総数 20件以上/月  <input type="checkbox"/>上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略 ( )</p>
研修中に定期的に行う教育
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会                  ( 新患回診 (毎月曜)、病棟回診 (毎火曜)、プライマリケアレクチャの受講 (毎水曜)、抄読会 (毎木曜)、疼痛と緩和の勉強会 (毎月)、小袋カンファレンス (毎火曜) )                  他の施設で行う教育・研修機会                  ( たまな在宅ネットワークカンファレンス (毎月)、玉東町デスカンファレンス )</p>
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること
<p>本プログラム以外の参加プログラム数 ( 0 )                  プログラム名 ( )                  プログラム名 ( )                  プログラム名 ( )</p>

総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

研修施設名	人吉医療センター		
診療科名	(総合診療科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	病院病床数 ( 252 ) 床 診療科病床数 ( 51 ) 床		
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	( 3 - 6 ) カ月		
常勤指導医の有無	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3 か月単位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	田浦 尚宏	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2		指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3		指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 ■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する			
<b>施設要件</b>			
■一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する ■救急医療を提供している			
<b>病棟診療</b> ：以下の全てを行っていること			
■高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略(柔軟に受入れ、それぞれのライフスタイルや本人家族の病態の解釈を把握し、治療を行う。早い段階から多職種が介入し、全般的に対策を練る。)			
■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略(多方面からアプローチし、多職種あいの情報を基に、入院での早急な問題解決、または、外来で健康問題を解決できる環境整備を行う。)			
■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略(カンファランスや回診などを通じて専門医や多職種と情報を共有し、専門科が解決すべき問題を早期に専門科に繋ぐ。)			
■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略(多職種で情報共有し、カンファランスや回診の場で対応を協議し、環境整備する。院外の機関とも協議し、今後の対策についても体制を構築する。)			
■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略(それぞれの病期や家庭環境、患者家族の希望をこまめに把握し、多職種で情報共有に苦痛なく過ごせる環境をつくる。訪問看護と訪問診療を行う。)			
■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略(入院時より起こりうる状況への対応策を説明し、多職種で、地域で活用できる資源を検討し、退院に向けて環境を整備する。)			
■在宅患者の入院時対応 具体的な体制(患者家族とも苦痛なく入院できる受入れ体制をつくる。救急搬送について協議し、救急外来での情報共有と対応が統一できる体制を構築している。)			
<b>外来診療</b> ：以下の診療全てを行っていること			
■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略(常時2人体制で救急診療し、状況に応じ診療応援を呼べる体制を継続している。不応することなく、柔軟で迅速な救急・初診患者受入れ体制を構築している。)			
■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略(地域完結する医療を実践し、専門科が対応できなくてもすべて受入れ必要に応じて連携して			

いる。)
<p>■よくある症候と疾患                  具体的な体制と方略（分野に関係なく対応できるように、専門科の治療方針や処置など情報共有し、その結果についてもフィードバックする。）</p>
<p>■臨床推論・EBM                  具体的な体制と方略（主に救急症例で定期的に症例検討会を開いている。どこでも検索できる状態にあり、診療にフィードバックしている。）</p>
<p>■複数の健康問題への包括的なケア                  具体的な体制と方略（健康問題が明確であれば、それぞれの問題に対応できる複数の担当を置き、それぞれで調整するが、明確でない複数の健康問題を抱えている場合は、主に調整する担当者を充て、多職種が問題点を共有し、すべての問題点が漏れることなく対応できるように調整する。地理的な問題を含め、院外とも迅速に対応する。）</p>
<p>■診断困難患者への対応                  具体的な体制と方略（問題解決の方針が見つからない状況で放置されることや、たらい回しされることがないように受け入れ体制をつくり、方針を明確にしてフォローできる体制をつくる。本人家族の解釈も聴取し、医療連携を図り、多職種で情報共有する。）</p>
<p>診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））</p>
<p>■当該診療科におけるのべ外来患者数 200名以上／月                  □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略（ 救急外来での診療、五木村診療所での定期的外来 ）</p>
<p>■当該診療科における入院患者総数 20件以上／月                  □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略（ ）</p>
<p>研修中に定期的に行う教育</p>
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会                  （ ネットカンファ、他科合同カンファ、抄読会 ）                  他の施設で行う教育・研修機会                  （                  ）</p>
<p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること</p>
<p>本プログラム以外の参加プログラム数 （ 4 ）                  プログラム名（ 熊本赤十字病院総合診療専門医研修プログラム ）                  プログラム名（ 済生会熊本病院総合診療専門医研修プログラム ）                  プログラム名（ 人吉医療センター総合診療専門医研修プログラム ）                  プログラム名（ 羽生総合病院総合診療プログラム ）</p>

総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

研修施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター		
診療科名	( 総合診療科 ) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	病院病床数 ( 210 ) 床 診療科病床数 ( 15~20 ) 床		
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	( 3 - 6 ) カ月		
常勤指導医の有無	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい ( 3か月単位で複数の施設で研修可能 )		
常勤指導医氏名 1	鶴田 真三	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2	松本 朋樹	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3	高田 登	指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 ■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する			
<b>施設要件</b>			
■一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する ■救急医療を提供している			
<b>病棟診療</b> ：以下の全てを行っていること			
■高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略 ( 当院の入院患者は高齢者が多く、疾患に応じて各科専門医と連携して対応している。 )			
■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 ( 複数の疾患を抱える患者に対しては、他科の医師と連携して診療を行っている。 )			
■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 ( 当院には、各種学会の専門医が常勤しており、必要に応じて各専門医との共診が可能。 )			
■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 ( MSWが常勤しており、必要に応じて近隣の精神科医との連携もとれている。 )			
■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 ( 緩和ケア認定看護師が常勤しており、定期的に緩和ケア回診を行っている。 )			
■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 ( 医療福祉連携室を中心に、退院支援や地域の医療機関と密接な連携がとれている。 )			
■在宅患者の入院時対応 具体的な体制 ( 併設する介護センター等と連携し、必要に応じて入院対応が可能。 )			
<b>外来診療</b> ：以下の診療全てを行っていること			
■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略 ( 一次救急から、脳卒中や心筋梗塞を含む二次救急まで24時間365日対応可。 )			
■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略 ( 内科系から外科系まで幅広い患者に対応している。 )			
■よくある症候と疾患 具体的な体制と方略 ( よくある症候や疾患に関しては、休日・夜間も含めて対応可。 )			
■臨床推論・EBM 具体的な体制と方略 ( 定期的にカンファレンスや勉強会を実施している。 )			
■複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略 ( 医療福祉連携室を中心に、看護師やMSWが密接に連携し対応している。 )			
■診断困難患者への対応 具体的な体制と方略 ( 診断困難症例については、各科専門医と連携して共診を行っている。 )			



総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

研修施設名	国保水俣市立総合医療センター		
診療科名	代謝内科 ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	病院病床数（ 401 ）床 診療科病床数（ 5 ）床		
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	（ 3 - 6 ）カ月		
常勤指導医の有無	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるべき地（8. 研修施設群参照）の指定地域である その場合のサポート体制（ ）		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい （ 3か月単位で複数の施設で研修可能 ）		
常勤指導医氏名1	藤澤 和夫	指導医登録番号	（ ）
常勤指導医氏名2		指導医登録番号	（ ）
常勤指導医氏名3		指導医登録番号	（ ）
要件（各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（ <input checked="" type="checkbox"/> のように））			
<b>研修の内容</b>			
■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題（心理・社会・倫理的問題を含む）を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 ■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する			
<b>施設要件</b>			
■一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する ■救急医療を提供している			
<b>病棟診療</b> ：以下の全てを行っていること			
■高齢者（特に虚弱）ケア 具体的な体制と方略（NST、褥瘡ラウンドに医師も参加 ）			
■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略（ 院内コンサルテーション、事例検討会 ）			
■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略（院内の各科専門医へ必要に応じコンサルテーションを行っている。 ）			
■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略（社会福祉士を含む多職種カンファレンス及び倫理委員会での検討 ）			
■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略（緩和ケアに関する研修を受けた医師及び緩和ケア認定看護師を中心としたラウンドカンファレンス）			
■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略（退院支援及び地域連携部門を設置し、複数の社会福祉士で対応している。 ）			
■在宅患者の入院時対応 具体的な体制（地域医療支援室のMSWの介入により対応 ）			
<b>外来診療</b> ：以下の診療全てを行っていること			
■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略（救急センターを設置（24時間対応）。18診療科で外来診療を実施。 ）			
■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略（総合診療科を設置し、外来診療を行っている。 ）			
■よくある症候と疾患 具体的な体制と方略（ めまい、発熱等、臓器別外来に振り分けられない疾患を総合診療科で対応。 ）			
■臨床推論・EBM 具体的な体制と方略（ 症例検討会、週1回の救急カンファレンス他院内研修会を多数開催。 ）			
■複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略（各診療科が連携して対応している。 ）			

<p>■診断困難患者への対応                  具体的な体制と方略                  ( )</p>
<p>診療実績 (各項目を満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))</p>
<p>■当該診療科におけるのべ外来患者数 200名以上/月                  □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略 (週1回熊本大学から総合診療科医師の診療支援を受けている。)</p>
<p>■当該診療科における入院患者総数 20件以上/月                  □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している                  具体的な体制と方略 (週1回熊本大学から総合診療科医師の診療支援を受けている。)</p>
<p>研修中に定期的に行う教育</p>
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会                  ( 症例検討会、救急カンファレンス )                  他の施設で行う教育・研修機会                  ( )</p>
<p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること</p>
<p>本プログラム以外の参加プログラム数 ( 0 )                  プログラム名 ( )                  プログラム名 ( )                  プログラム名 ( )</p>

総合診療専門研修Ⅱを行う施設ごとの詳細

研修施設名	熊本大学病院		
診療科名	(総合診療科) ※病院で研修を行う場合、研修を行う主たる診療科を記載してください。		
施設情報	病院病床数 ( 845 ) 床 診療科病床数 ( 42 ) 床		
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	( 1 ) カ月		
常勤指導医の有無	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 常勤指導医なしの場合 <input type="checkbox"/> 都道府県の定めるへき地 (8. 研修施設群参照) の指定地域である その場合のサポート体制 ( )		
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい (他の施設での研修も行うことが必須である)		
常勤指導医氏名 1	松井 邦彦	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 2	谷口 純一	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 3	佐土原 道人	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 4	高柳 宏史	指導医登録番号	( )
常勤指導医氏名 5	前田 幸佑	指導医登録番号	( )
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>研修の内容</b>			
■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 ■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する			
<b>施設要件</b>			
■一般病床ないしは地域包括ケア病床を有する ■救急医療を提供している			
<b>病棟診療</b> ：以下の全てを行っていること			
■高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略(かかりつけ該当患者の入院診療を行う)			
■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略(院内の各専門職とチーム医療を行い、総合診療科が中心となって様々な診療科と共に診療を行う)			
■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略(県内唯一の大学病院で多くの専門診療科がありこれらへのコンサルテーションを行う)			
■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略(多職種診療スタッフとの定期カンファレンスを行う)			
■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略(緩和ケアチームと合同で診療を行う)			
■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略(地域医療連携センターと共同で提供する)			
■在宅患者の入院時対応 具体的な体制(24時間救急体制で受け入れが可能)			
<b>外来診療</b> ：以下の診療全てを行っていること			
■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略(救急外来、および総合診療外来を担当している)			
■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略(専門診療科に紹介されない初診患者を、総合診療外来が担当している)			
■よくある症候と疾患 具体的な体制と方略(総合診療外来が担当している)			
■臨床推論・EBM 具体的な体制と方略(関心の高い指導医がおり定期的なカンファレンス、勉強会を行うことで高度な教育が可能である)			

る)
<p>■複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略（総合診療外来が担当している）</p>
<p>■診断困難患者への対応 具体的な体制と方略（総合診療外来が担当している）</p>
<p>診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））</p>
<p>■当該診療科におけるのべ外来患者数 200名以上／月 □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ )</p>
<p>□当該診療科における入院患者総数 20件以上／月 ■上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（基幹施設である大学病院における総合診療Ⅱの研修であるが、一か月間の選択研修として位置づけられている。このため総合診療Ⅱの研修としては、他施設での研修が必須となる。しかしながら、他施設では経験することが困難な、様々な教育プログラムが用意されている。）</p>
<p>研修中に定期的に行う教育</p>
<p>当該施設で行う勉強会・カンファレンス・カルテチェック等の教育機会 （毎週のテレビ会議システムを使った連携施設と共に行う症例カンファレンス、一週間に一回開かれるリサーチミーティングや、2-3カ月に一度、学外から講師を招聘しての地域医療・総合診療グランドラウンドなど、様々な教育機会が豊富にある。 他の施設で行う教育・研修機会 （熊本県内の他のプログラムによる “熊本総合診療研究会”、九州地区での施設による “九州地域医療教育研究会”、あるいは日本プライマリ・ケア連合学会など、多施設と合同の様々な、様々な教育・研修機会がある。）</p>
<p>他のプログラムに参加される場合は以下の欄を記載すること</p>
<p>本プログラム以外の参加プログラム数 ( 0 ) プログラム名 ( ) プログラム名 ( ) プログラム名 ( )</p>

内科

<b>領域別研修：内科</b>			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
領域別研修（内科）における研修期間		（ 3 - 12 ）カ月	
指導医氏名	小山 耕太		
有する認定医・専門医資格 <small>※内科に関するもの</small>	総合内科専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医		
要件（各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する			
<b>施設要件</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 内科専門研修プログラムに参加している <input type="checkbox"/> 基幹施設 <input checked="" type="checkbox"/> 連携施設 <input type="checkbox"/> 特別連携施設 <input checked="" type="checkbox"/> 内科学会の認定する指導医が常勤で在籍しており、J-OSLER（専攻医登録評価システム）を使用できる			
診療実績（各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（■のように））			
<input checked="" type="checkbox"/> 当該診療科における入院患者総数 40 件以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数（ 0 ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			

<b>領域別研修：内科</b>			
研修施設名	上天草市立上天草総合病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8211689
領域別研修（内科）における研修期間		（ 3 - 6 ）カ月	
指導医氏名	和田 正文		
有する認定医・専門医資格 <small>※内科に関するもの</small>	総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医		
要件（各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する			
<b>施設要件</b>			
<input type="checkbox"/> 内科専門研修プログラムに参加している <input type="checkbox"/> 基幹施設 <input checked="" type="checkbox"/> 連携施設 <input type="checkbox"/> 特別連携施設 <input type="checkbox"/> 内科学会の認定する指導医が常勤で在籍しており、J-OSLER（専攻医登録評価システム）を使用できる			
診療実績（各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（■のように））			
<input checked="" type="checkbox"/> 当該診療科における入院患者総数 40 件以上／月 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数（ 1 ）			
プログラム名（ 熊本赤十字病院内科専門研修プログラム ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			

<b>領域別研修：内科</b>			
研修施設名	人吉医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8211366

領域別研修（内科）における研修期間	（ 3 - 12 ）カ月
指導医氏名	中井 良一
有する認定医・専門医資格 <small>※内科に関するもの</small>	総合内科専門医
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））	
<b>研修の内容</b> ■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する	
<b>施設要件</b> ■内科専門研修プログラムに参加している □基幹施設 ■連携施設 □特別連携施設 ■内科学会の認定する指導医が常勤で在籍しており、J-OSLER（専攻医登録評価システム）を使用できる	
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））	
■当該診療科における入院患者総数 40 件以上／月 □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ )	
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること	
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 3 ） プログラム名（ 人吉医療センター総合診療専門研修プログラム ） プログラム名（ 熊本大学病院内科プログラム ） プログラム名（ 済生会熊本病院内科研修プログラム ）	

<b>領域別研修：内科</b>			
研修施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 2010145
領域別研修（内科）における研修期間	（ 3 - 12 ）カ月		
指導医氏名	境野 成次		
有する認定医・専門医資格 <small>※内科に関するもの</small>	内科専門医、内科認定医、循環器専門医、日本血管インターベンジャー治療学会指導医		
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b> ■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する			
<b>施設要件</b> ■内科専門研修プログラムに参加している □基幹施設 ■連携施設 □特別連携施設 ■内科学会の認定する指導医が常勤で在籍しており、J-OSLER（専攻医登録評価システム）を使用できる			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科における入院患者総数 40 件以上／月 □上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している 具体的な体制と方略（ )			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ） プログラム名（ ) プログラム名（ ) プログラム名（ )			

<b>領域別研修：内科</b>			
研修施設名	地域医療機能推進機構熊本総合病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8211358
領域別研修（内科）における研修期間	（ 3 - 12 ）カ月		
指導医氏名	吉松 眞一		
有する認定医・専門医資格	内科認定医、総合内科専門医		





小児科

領域別研修：小児科			
研修施設名	阿蘇医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8210558
領域別研修（小児科）における研修期間		（ 3 ）カ月	
指導医氏名	橋山 元浩	有する専門医資格（小児科専門医） ※小児科に関するもの	
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的に遭遇する症候や疾患の対応を経験する			
■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する			
■病棟診療：日常的に遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ			
<b>施設要件</b>			
■小児領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■小児科常勤医がいる。（ 1 ）名			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科におけるのべ外来患者数 400名以上／月			
□上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			

領域別研修：小児科			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
領域別研修（小児科）における研修期間		（ 3 ）カ月	
指導医氏名	宮城 俊彦	有する専門医資格（日本小児科学会認定医・専門医） ※小児科に関するもの	
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的に遭遇する症候や疾患の対応を経験する			
■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する			
■病棟診療：日常的に遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ			
<b>施設要件</b>			
■小児領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■小児科常勤医がいる。（ 3 ）名			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科におけるのべ外来患者数 400名以上／月			
□上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			

領域別研修：小児科			
研修施設名	人吉医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8211366

領域別研修（小児科）における研修期間		（ 3 ） カ月	
指導医氏名	上原 正彦	有する専門医資格（ 小児科専門医 ） ※小児科に関するもの	
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的に遭遇する症候や疾患の対応を経験する			
■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する			
■病棟診療：日常的に遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ			
<b>施設要件</b>			
■小児領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■小児科常勤医がいる。（ 3 ）名			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
□当該診療科におけるのべ外来患者数 400名以上／月			
■上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ 近隣の開業医の先生方からの紹介による連携。 ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 1 ）			
プログラム名（人吉医療センター総合診療専門研修プログラム）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			

<b>領域別研修：小児科</b>			
研修施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 2010145
領域別研修（小児科）における研修期間		（ 3 ） カ月	
指導医氏名	吉田 史則	有する専門医資格（ 小児科専門医 ） ※小児科に関するもの	
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的に遭遇する症候や疾患の対応を経験する			
■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する			
■病棟診療：日常的に遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ			
<b>施設要件</b>			
■小児領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■小児科常勤医がいる。（ 3 ）名			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科におけるのべ外来患者数 400名以上／月			
□上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数 （ 0 ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			

※小児科研修をカリキュラム制での実施を希望する場合は、その条件（2ページ「4概要 D. ローテーションのスケジュールと期間」参照）を確認したうえで、具体的にどのような研修を行うのか、別途説明した文書を添付してください。（A4で1枚程度、書式自由）文書には、プログラム制では実施できない合理的な理由と、プログラム制と同等の研修経験・指導の質を担保するための工夫に関する記載も含めるようにしてください。

救急科

領域別研修：救急科			
研修施設名	国立病院機構・熊本医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8110501
指導医氏名	原田 正公	有する専門医資格（救急科専門医）	専従する部署（救急科）
☑研修期間（ 3 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
□救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上）			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科におけるのべ救急搬送件数 1000件以上／年			
□上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数（ 2 ）			
プログラム名（ 国立病院機構熊本医療センター総合診療専門医プログラム ）			
プログラム名（ くわみず病院総合診療専門研修プログラム ）			
プログラム名（ ）			

領域別研修：救急科			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
指導医氏名	田宮 貞宏	有する専門医資格（日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本内科学会認定教育施設指導医、プライマリ・ケア認定医・指導医）	専従する部署（総合診療科）
☑研修期間（ 3 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
□救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上）			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科におけるのべ救急搬送件数 2000件以上／年			
□上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数（ 0 ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			

領域別研修：救急科			
研修施設名	人吉医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8211366
指導医氏名	下川 恭弘	有する専門医資格（外科専門医）	専従する部署（救急部）
☑研修期間（ 3 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			

<b>研修の内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
□救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上）			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科におけるのべ救急搬送件数 1000件以上／年			
□上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数（ 3 ）			
プログラム名（ 人吉医療センター総合診療専門研修プログラム ）			
プログラム名（ 熊本医療センター救急専門研修プログラム ）			
プログラム名（ JCHO九州病院救急専門研修プログラム ）			

<b>領域別研修：救急科</b>			
研修施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 2010145
指導医氏名	高田 登	有する専門医資格（外科指導医）	専従する部署（外科）
□研修期間（ 3 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
□救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上）			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科におけるのべ救急搬送件数 1000件以上／年			
□上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数（ 0 ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			
プログラム名（ ）			

<b>領域別研修：救急科</b>			
研修施設名	熊本大学病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8111269
指導医氏名	笠岡 俊志	有する専門医資格（救急科専門医）	専従する部署（救急総合診療部）
☑研修期間（ 3 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
□救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上）			
診療実績（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
■当該診療科におけるのべ救急搬送件数 1000件以上／年			
□上記の要件を満たさないが、他施設との連携で工夫している			
具体的な体制と方略（ ）			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			

外科

<b>領域別研修：</b> 外科			
研修施設名	山都町包括医療センターそよう病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8210053
指導医氏名	竹本 隆博	有する専門医資格（外科専門医、プライマリ ケア専門医）	専従する部署（総合診療科）
<input checked="" type="checkbox"/> 研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b> ■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす） ■（ 外科 ）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる ■（ 外 ）科常勤医がいる。（ 2 ）名			
他のプログラムに参加される場合は以下の欄に記載すること			
本プログラム以外の参加プログラム数（ 0 ） プログラム名（ ） プログラム名（ ） プログラム名（ ）			

※救急科研修をカリキュラム制での実施を希望する場合は、その条件（2 ページ「4 概要 D. ローテーションのスケジュールと期間」参照）を確認したうえで、具体的にどのような研修を行うのか、別途説明した文書を添付してください。（A4で1枚程度、書式自由）文書には、プログラム制では実施できない合理的な理由と、プログラム制と同等の研修経験・指導の質を担保するための工夫に関する記載も含めるようにしてください。

<b>領域別研修：</b> 外科			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
指導医氏名	石河 隆敏	有する専門医資格（外科専門医・指導 医）	専従する部署（ 外科 ）
<input checked="" type="checkbox"/> 研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b> ■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす） ■（ 外科 ）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる ■（ 外 ）科常勤医がいる。（ 4 ）名			

<b>領域別研修：</b> 外科			
研修施設名	人吉医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8211366
指導医氏名	尾崎 宣之	有する専門医資格（ 外科専門医 ）	専従する部署（ 外科 ）
<input checked="" type="checkbox"/> 研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b> ■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす） ■（ 外科 ）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる ■（ 外 ）科常勤医がいる。（ 6 ）名			

<b>領域別研修：</b> 外科			
------------------	--	--	--

研修施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 2010145
指導医氏名	原田 和則	有する専門医資格（外科指導医）	専従する部署（外科）
☑研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（外科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（外）科常勤医がいる。（ 6 ）名			

<b>領域別研修： 外科</b>			
研修施設名	熊本大学病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8111269
指導医氏名	馬場 秀夫	有する専門医資格（消化器外科、外科）	専従する部署（消化器外科）
☑研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（消化器外科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（消化器外科）科常勤医がいる。（ 13 ）名			

<b>領域別研修： 外科</b>			
研修施設名	熊本大学病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8111269
指導医氏名	山本 豊	有する専門医資格（乳腺専門医）	専従する部署（乳腺・内分泌外科）
☑研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（乳腺内分泌・甲状腺外科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（乳腺内分泌外）科常勤医がいる。（ 1 ）名			

<b>領域別研修： 外科</b>			
研修施設名	地域医療機能推進機構熊本総合病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8211358
指導医氏名	堀野 敬	有する専門医資格（日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会）	専従する部署（外科）
☑研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（外科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（外）科常勤医がいる。（ 6 ）名			

<b>領域別研修： 外科</b>			
研修施設名	山鹿市民医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8210095
指導医氏名	別府 透	有する専門医資格（外科専門医）	専従する部署（外科）
☑研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（外科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（外）科常勤医がいる。（ 4 ）名			

産婦人科

<b>領域別研修： 産婦人科</b>			
研修施設名	人吉医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8211366
指導医氏名	瀬戸 雄飛	有する専門医資格（産婦人科専門医）	専従する部署（産婦人科）
☑研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（産婦人科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（産婦人）科常勤医がいる。（ 4 ）名			

<b>領域別研修： 産婦人科</b>			
研修施設名	地域医療機能推進機構熊本総合病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8211358
指導医氏名	岡村 佳則	有する専門医資格（産科、婦人科学会、生殖医学会）	専従する部署（婦人科）
☑研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（婦人科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（婦人科）科常勤医がいる。（ 1 ）名			

<b>領域別研修： 産婦人科</b>			
研修施設名	天草中央総合病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8211374
指導医氏名	荒木 真佐子	有する専門医資格（産婦人科専門医）	専従する部署（産婦人科）
☑研修期間（ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（産婦人科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（産婦人）科常勤医がいる。（ 3 ）名			

整形外科

<b>領域別研修： 整形外科</b>			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
指導医氏名	越智 龍弥	有する専門医資格（ 整形外科専門医 ）	専従する部署（ 整形外科 ）
☑研修期間 （ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（ 整形 ）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（ 整形 ）科常勤医がいる。（ 8 ）名			

<b>領域別研修： 整形外科</b>			
研修施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 2010145
指導医氏名	大江 浩一郎	有する専門医資格（整形外科専門医）	専従する部署（整形外科）
☑研修期間 （ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（整形外科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（整形外）科常勤医がいる。（ 5 ）名			

<b>領域別研修： 整形外科</b>			
研修施設名	熊本大学病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8111269
指導医氏名	宮本 健史	有する専門医資格（日本整形外科学会専門医）	専従する部署（整形外科）
☑研修期間 （ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（整形外科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（整形外）科常勤医がいる。（ 16 ）名			

<b>領域別研修： 整形外科</b>			
研修施設名	地域医療機能推進機構熊本総合病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8211358
指導医氏名	菊川 憲志	有する専門医資格（整形外科）	専従する部署（整形外科）
☑研修期間 （ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（整形）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（整形）科常勤医がいる。（ 7 ）名			

皮膚科

<b>領域別研修： 皮膚科</b>			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
指導医氏名	境 恵祐	有する専門医資格（ 皮膚科 ）	専従する部署（皮膚科）
☑研修期間 （ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（皮膚科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（皮膚科）科常勤医がいる。（ 2 ）名			

泌尿器科

<b>領域別研修： 泌尿器科</b>			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
指導医氏名	和田 孝浩	有する専門医資格（泌尿器専門医・指導医）	専従する部署（泌尿器科）
☑研修期間 （ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（泌尿器）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（泌尿器）科常勤医がいる。（ 2 ）名			

<b>領域別研修： 泌尿器科</b>			
研修施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 2010145
指導医氏名	陣内 良映	有する専門医資格（泌尿器科専門医）	専従する部署（泌尿器科）
☑研修期間 （ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（泌尿器科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（泌尿器）科常勤医がいる。（ 3 ）名			

<b>領域別研修： 泌尿器科</b>			
研修施設名	地域医療機能推進機構熊本総合病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8211358
指導医氏名	川上 茂生	有する専門医資格（ 泌尿器科 ）	専従する部署（ 泌尿器科 ）
☑研修期間 （ 1 ）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			

**施設要件**（下記のいずれかを満たす）

- （泌尿器）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる
- （泌尿器）科常勤医がいる。（4）名

放射線科

<b>領域別研修： 放射線科</b>			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
指導医氏名	浪本 智弘	有する専門医資格（放射線診断）	専従する部署（放射線科）
☑研修期間（1）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（放射線診断）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（放射線）科常勤医がいる。（1）名			

<b>領域別研修： 放射線科</b>			
研修施設名	人吉医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8211366
指導医氏名	米永 和真	有する専門医資格（放射線診断）	専従する部署（放射線部）
☑研修期間（1）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（放射線）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（放射線）科常勤医がいる。（2）名			

<b>領域別研修： 放射線科</b>			
研修施設名	天草郡市医師会立天草地域医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 2010145
指導医氏名	吉田 守克	有する専門医資格（放射線診断専門医）	専従する部署（放射線科）
☑研修期間（1）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b>			
■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす）			
■（放射線科）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる			
■（放射線）科常勤医がいる。（2）名			

<b>領域別研修： 放射線科</b>			
研修施設名	天草中央総合病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8211374
指導医氏名	吉住 和弘	有する専門医資格（放射線診断専門医）	専従する部署（放射線科）
☑研修期間（1）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			

<b>研修の内容</b> ■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす） ■（画像診断）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる ■（放射線）科常勤医がいる。（2）名

精神科

<b>領域別研修： 精神科</b>			
研修施設名	国立病院機構・熊本医療センター	都道府県コード 43	医療機関コード 8110501
指導医氏名	橋本 聡	有する専門医資格（精神科専門医）	専従する部署（精神科）
☑研修期間（1）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b> ■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす） ■（精神）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる ■（精神）科常勤医がいる。（1）名			

麻酔科

<b>領域別研修： 麻酔科</b>			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
指導医氏名	松尾 孝一	有する専門医資格（麻酔専門医）	専従する部署（麻酔科）
☑研修期間（1）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b> ■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす） ■（麻酔）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる ■（麻酔）科常勤医がいる。（3）名			

リハビリテーション

<b>領域別研修： リハビリテーション科</b>			
研修施設名	公立玉名中央病院	都道府県コード 43	医療機関コード 8212075
指導医氏名	越智 龍弥	有する専門医資格（リハビリテーション科専門医）	専従する部署（整形外科）
☑研修期間（1）カ月			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b> ■総合診療専門研修の経験目標を達成するのに有用な診療を経験する			
<b>施設要件</b> （下記のいずれかを満たす） ■（リハビリテーション）領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる ■（整形外）科常勤医がいる。（8）名			

臨床疫学

その他の研修施設（例：臨床疫学などの社会医学の研修や保健・介護・福祉関連の施設等での研修）

<b>領域・分野：</b> 臨床疫学
--------------------

研修施設名	熊本大学病院		
指導にあたる医師名	松井 邦彦	有する資格（公衆衛生学修士、疫学修士、医学博士、総合内科専門医、プライマリ・ケア認定医）	専従する部署（総合診療科）
<input checked="" type="checkbox"/> 研修期間（ 1 ）カ月、適宜必要に応じて可能			
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））			
<b>研修の内容</b> ■ 総合診療専門研修のプログラムの理念と合致している ■ 総合診療専門研修プログラムのカリキュラム内にある研修目標と関連している （具体的な関連性：臨床に根付いたリサーチマインドを持った医師養成を目指すための具体的な方略の一つである。）  その <b>指導体制</b> ■ 研修期間中、該当領域・分野の指導にあたる医師から、適切な指導やサポートを得られる ■ 研修終了時点で、総合診療専門研修プログラムの関連する研修目標に対応した評価を行うことができる			